

**「信州新町地区の公共施設を考える」
市民ワークショップ
～第3回～**

振り返り資料

Aグループ 信州新町の将来こんな地区をつくりたい

観光

- ・時代劇等映画のロケ地で聖地に！！
- ・カヌーを大切にしたい
- ・口コミによるお客様の集客をしたい
- ・動物フェスティバルの実施、ドッグラン！！
- ・こだわりの宿泊施設が欲しい
- ・音楽喫茶、ライブハウスが欲しい

自然

- ・山紫水明を生かしたまちづくり
- ・河川敷の環境ゴミ対策が必要

グルメ

- ・サフォークを大事にしたい
- ・地域全体でサフォークが食べられるまち

災害対策

- ・災害の無い、安全・安心に暮らせるまち
- ・災害発生時の対処は老人だけでは困難になる

地域の絆

- ・老人人口が増えることは間違いない、対応策を
- ・簡単におしゃべりがいっぱいできる、レンタル開放スペースが欲しい
- ・地域の人とのつながり、独りにならないようにしたい

アート

- ・アート&グルメの常に発信基地にしたい
- ・美術館は芸術表現場所、博物館のグループではない
- ・美術・芸術のまちにしたい
- ・美術館のレンタル
- ・芸術家の発掘地

空き家の有効化

- ・天変地異が発生した時に利用しやすいように空き家、遊耕地を適度に管理しておく
- ・空き家を利用してグループホームを
- ・空き家のレンタルを実施、借りやすく、安く

農業

- ・わさびの振興は難しいか？
- ・休耕地を利用し、めん羊の牧場を
- ・山間地なので、ワインぶどう、リンゴの有名な産地にしたい
- ・果樹、野菜等の直売所
- ・少量多品目な農業が出来る地区
- ・荒れる農地対応
- ・広範囲の自然林の整備はどうする、けもの村にはしない

- ・信州新町発 災害時に対応できる地元産野菜等を常に供給できる施設の研究

A・B 合同グループ

テーマ

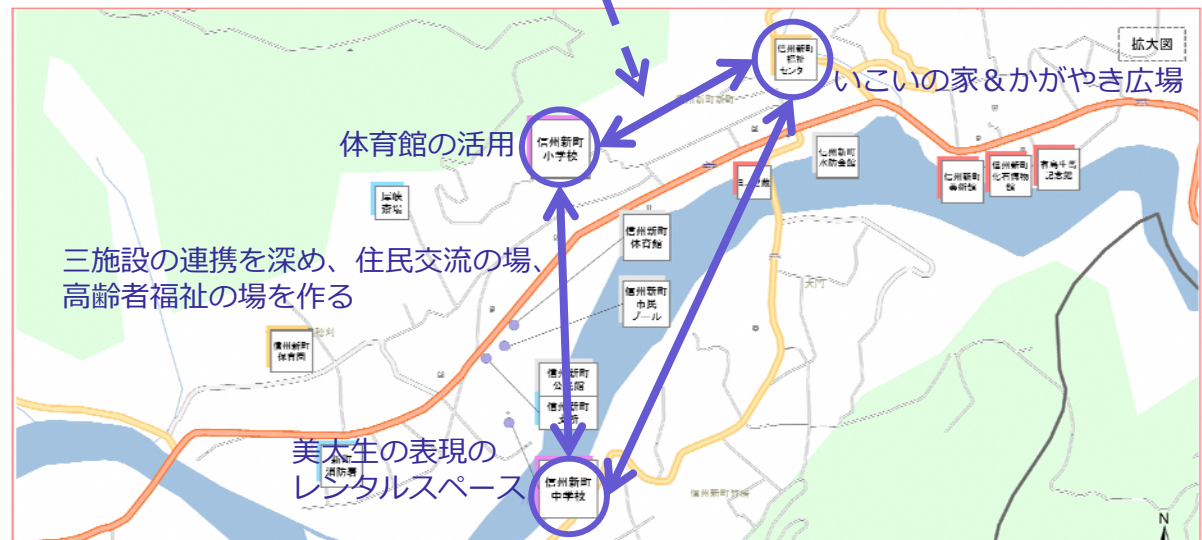
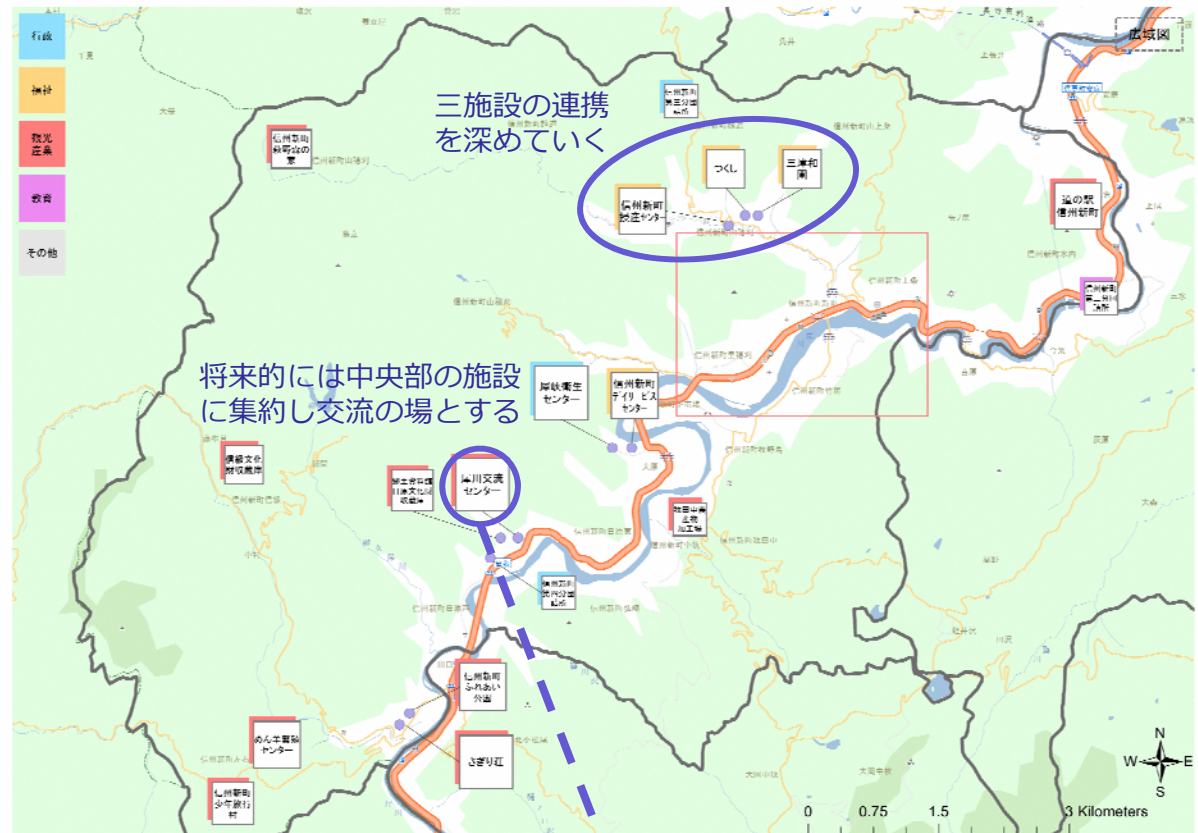
○高齢者福祉・住民交流の場

集約化・複合化の考え方

- 福祉センターのお風呂が使われておらずもったいない。新しい施設を作るのではなく、既存の施設を使っていくことが重要。
- 信州新町に他地区のような憩いの家、かがやき広場を作る。そうすることで他地区からの住民の来客も増え交流人口が増加する。そのためには、中央の三施設が連携し、いまあるスペースを活用していくことが重要だ。
- 将来的な話にはなるが、授産センター、つくし、三津和の三施設の連携を含めて統合を視野に入れていく。

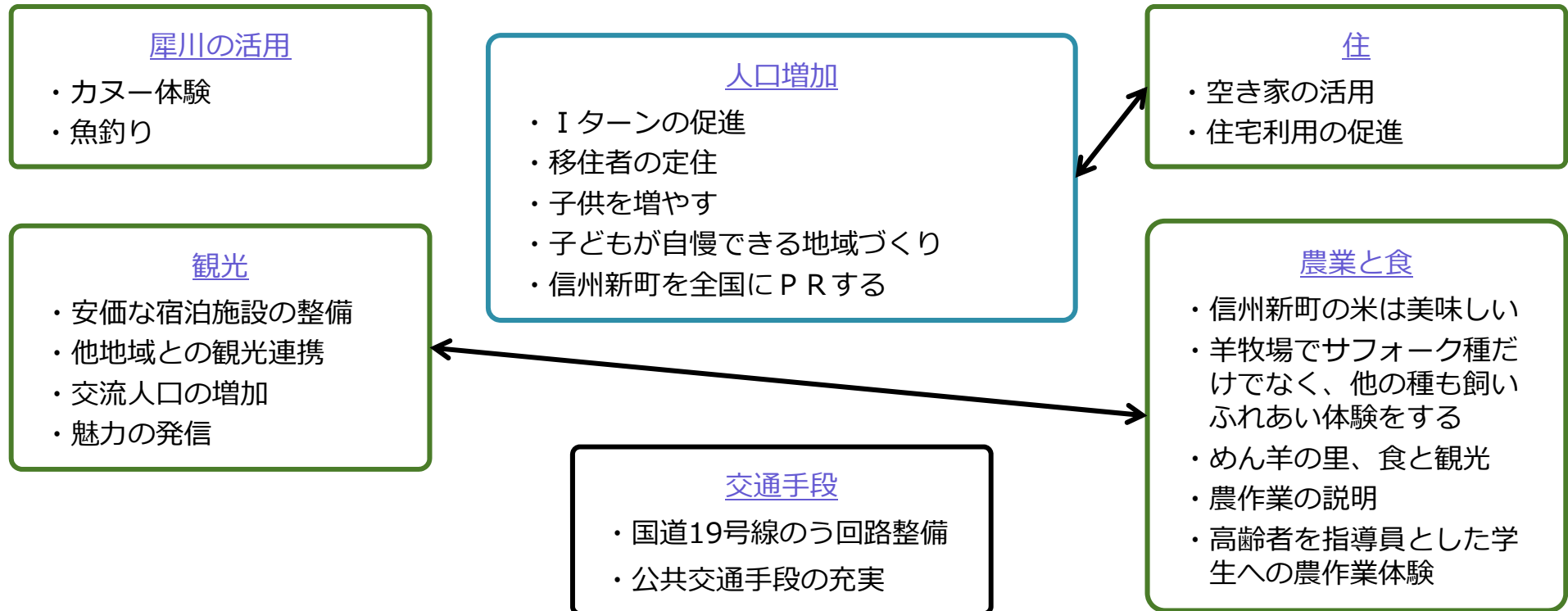
その他の意見

- 今後増える高齢者の対策、交流人口増加のための施策が重要になってくる。
- 犀川交流センターに大工の卵を呼び、実際の施設を使って自由に改装させると面白い、需要があると思う。



Bグループ 信州新町の将来こんな地区をつくりたい

良いものがあるが、点で終わっている
線として結ぶことで発展につながる



Cグループ 信州新町の将来こんな地区をつくりたい

コミュニティー

子育て若い人の定住

- ・多様な人が集まる地区
- ・コミュニティーを大事
- ・高齢者が元気な地区
- ・都会の人を集めた自然塾
- ・子供の声が響く地区
- ・子供の遊べる公園
- ・学校を大事にしたい
- ・子供がふえる
- ・町が好きで住みたい人がたくさんになってほしい
- ・ゲストハウスがほしい
- ・若い夫婦の定住に何かいい事があればいい
- ・空家を利用、空家をなくしたい
- ・商業がしっかりしている。町の中で買い物ができる

交流

- ・交流人口を増やす
- ・若い人が働ける場所がたくさんあればいい
- ・周辺の中山間地域とつながっていく町
- ・公共交通（バス）は必要
- ・他の地域にはない独自の魅力を大切にしていく町
- ・信州新町の魅力を発信したい

グルメ

- ・地場産品で活性化
- ・ジビエの活用を更に進める
- ・名物ジンギスカンを大事にしたい
サフォークの振興
- ・美味しい地区
- ・さざり荘をもっとおいしくする
- ・郷土食を大切（大豆、こんにゃく等）
- ・食文化を大事にしたい

自然・観光・アート

- ・犀川を使って
- ・信州新町の自然を大切にしたい
- ・自然（山・川・空気）も大事
- ・水上スポーツが盛んな地区になったらいい
- ・しずかでのどか
- ・自然を使って遊べる地区
- ・犀川を有効利用する
- ・老廃農地の活用
- ・納涼大会を大事にしたい
- ・スギ花粉がなくなったらいい
- ・芸術（アート）が盛んな地区
- ・芸術家が集まる町
- ・写真コンテストで集客
- ・地区外から人が集まる地区になったらいい

Cグループ

テーマ

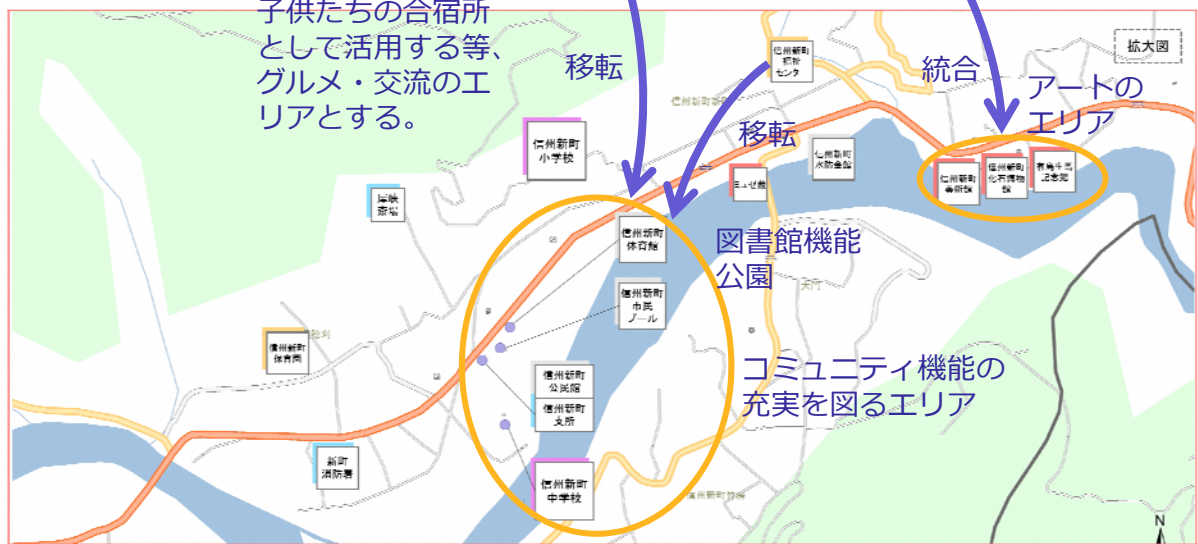
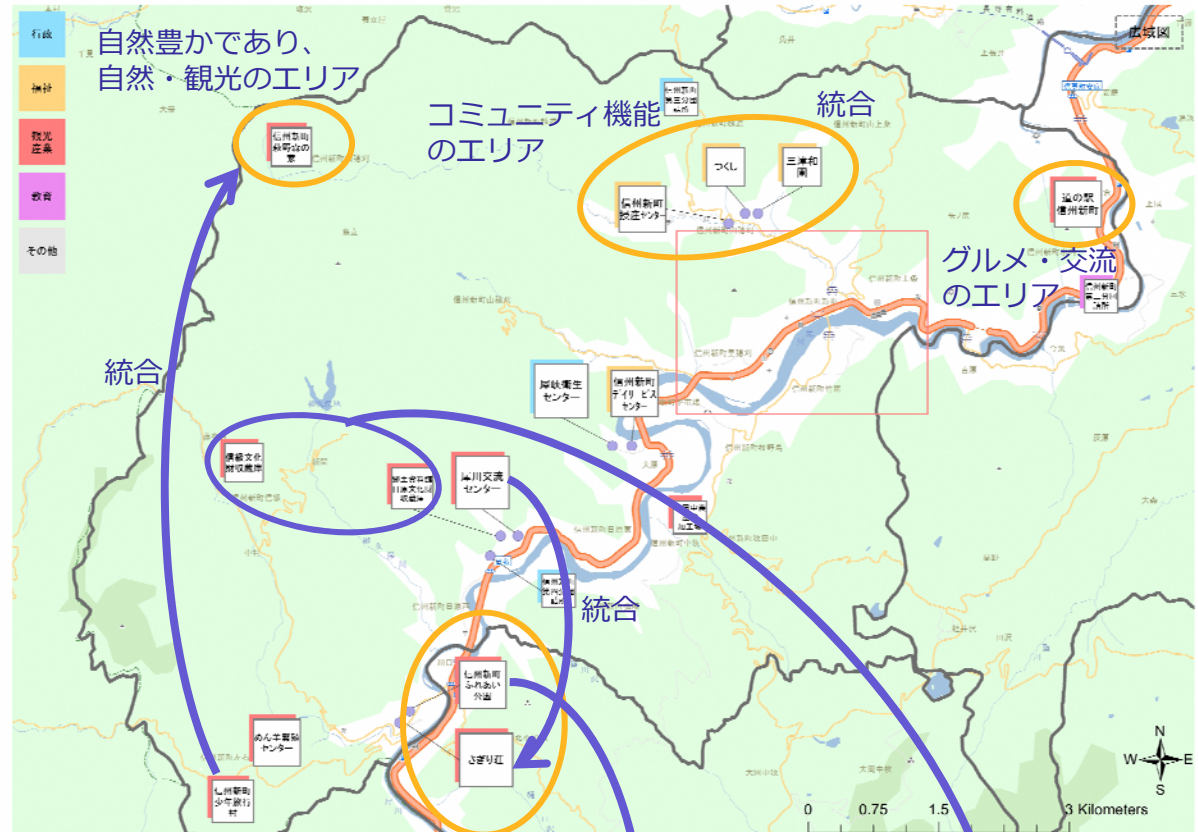
○住みやすい町～子供ファースト～

集約化・複合化の考え方

- 信州新町体育館のロビーが小中学生のたまり場になっている。そこで、本体育館を拠点に子供と親が土日を一緒に過ごす場所を整備する（体育館に近接する運動場へ信州新町ふれあい公園の遊具を移設し、公園化。図書館機能の設置、福祉センターの複合化）。
- 化石博物館の前にある恐竜を公園へ移設し、日頃から子供達の目に触れるようにする。
- つくし周辺の3施設はいずれかの施設へ統合する。

その他の意見

- 子供が住みやすい町にすることで子育て世代の満足度を上げ、定住人口の促進に繋げたい。
- 子供たちの土日の居場所がない。支所のロビーは入りづらい雰囲気があるため、体育館のロビーに集まる傾向がある。
- 公民館の図書館を土日開放してほしい。WIFIを設置してほしい。
- 犀川交流センターの課題は、体育館の天井が低い、グラウンドが使えない。



Dグループ 信州新町の将来こんな地区をつくりたい

観光客

- ・多様な体験型観光
- ・他地区から来やすい
- ・外からも多くの人を訪れる町
- ・アート&グルメの発展
- ・ゲストハウス
- ・空き家を有効活用
- ・通過する人(旅行客や通勤者)を巻き込める 道の駅のような感じで他の場所も

中間

- ・交流を楽しめる(外部から)
- ・地元住民と移住者が仲良いところ
- ・川を使う(イベント,施設とのコラボ)
- ・団地の再生(来訪者の素泊まり,子育て世代,高齢者)

住民

- ・帰ってきても安心する地区
- ・交通の便等増やしたい
- ・アウトドアスポーツを楽しめる
- ・子供と高齢者がふれあう
- ・冬でも動きやすい
子供や高齢者でも
高低差を気にせず生活できる
バス 移動手段
- ・体育館利用率向上

自然

- ・自然を楽しむ
- ・自然との共生
- ・風景を楽しめる
- ・自然と調和した町
- ・農山村の風景を大切に
- ・小水力発電
- ・めん羊が町にいる景色が見える
- ・羊が見える町(そんなに山奥ではないのに見える意外性)
- ・山と里でカラーを出す(山⇒アウトドア,アスレチック
里⇒暮らし,観光)
- ・自然を楽しむための拠点がほしい
- ・斜面地を活かす

子供

- ・子育てをしやすい
- ・子供が楽しめる
- ・住みやすい
- ・教育レベルの高い町
- ・おいしい給食

広域

- ・串と団子
多心型コンパクトシティ

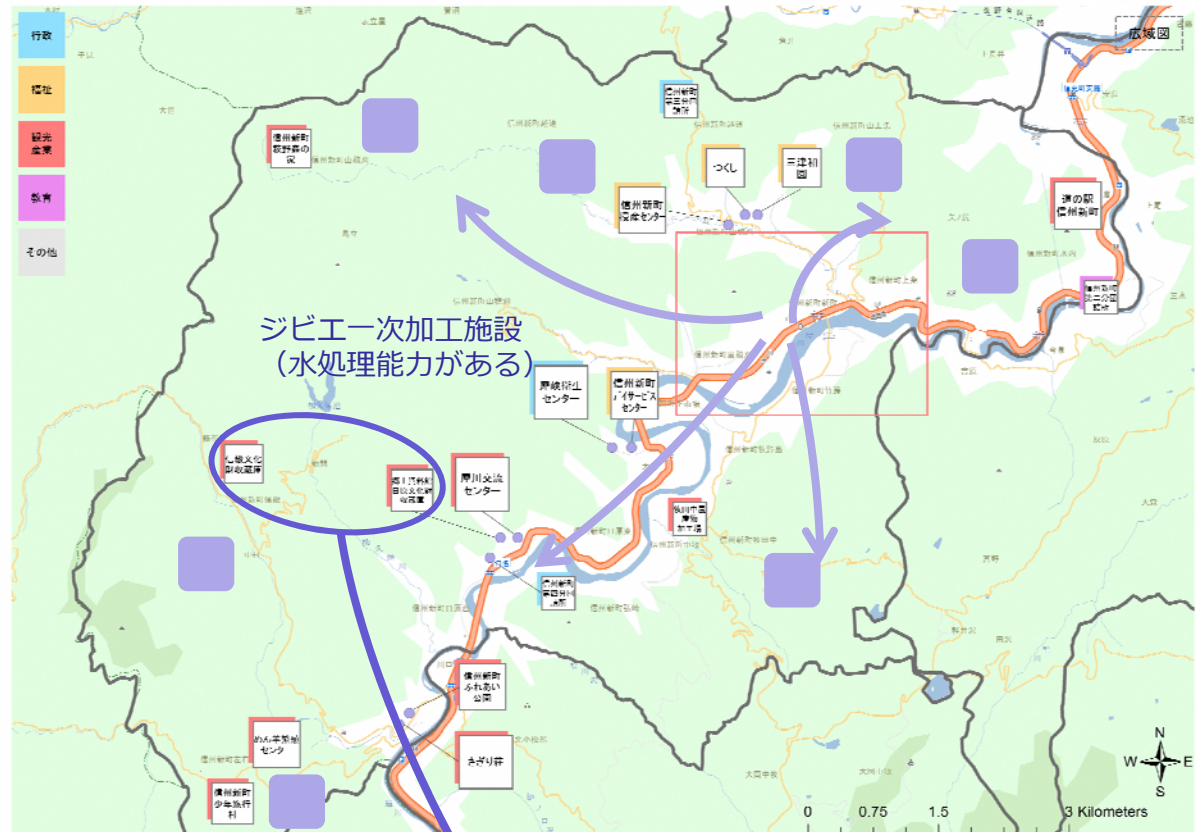
下線：新町に住んでいない人の意見

Dグループ

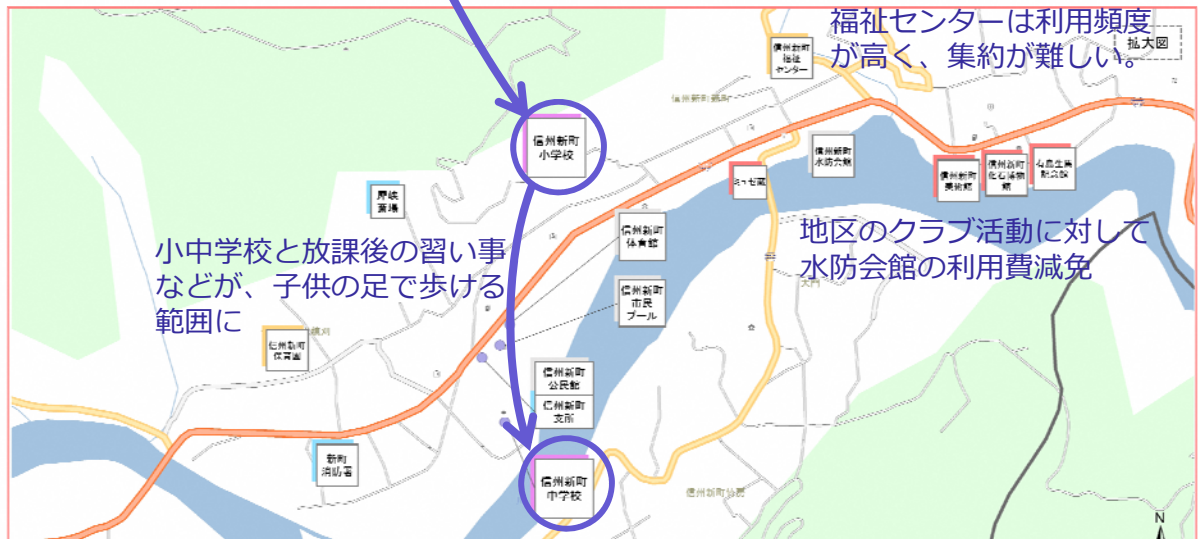
テーマ (なし)

集約化・複合化の考え方

- 公共施設を集約する結果、点在する集落に住む交通弱者（子供・お年寄り）は不利益を被るかもしれない。集落の集会所などを「用途転換しやすい箱」に「診療所、買い物、支所窓口など」のソフトが10日に1回程度出張することで、集約のデメリットをカバーしたい。集約内にあることで、一人暮らしのお年寄りも外に出てきやすい。箱の運営は集落の人に任せ、移住体験等にも使えるようにする。
- 小学校は、中学校に集約。市民プールを新しくして、小中学生の授業でも利用できるようにする。（できれば屋内プール）
- 信級・日原の収納庫は、収蔵品を整理する。価値の低いものは販売し、利益を活用する。
- 小学校の体育館は、新町体育館の分館として利用。また、収納庫にあるものを展示することで、ギャラリー機能を設けることで、地区外の利用者が新町に興味を持てるようにする。



ジビエ一次加工施設
(水処理能力がある)



Eグループ 信州新町の将来こんな地区をつくりたい

観光

- ・アート&グルメ&カヌー
- ・アートがもっと充実した街
- ・犀川交流センターの整備
- ・県内初の道の駅を活用
- ・美術館があることを活かしアーティストが集う地区になるとよい
- ・ミューゼ蔵（展示・憩いの場所）
- ・カヌーの拠点づくり
- ・宿泊施設の整備

交流

- ・住民がふれあえるまち
- ・住民が集える会を増やす
- ・各地区ごとに住民が集える場所づくりをして活性化をはかる
- ・住民も住民以外も入りやすい施設
- ・世代間で交流が盛ん
- ・小・中学校・老人クラブの交流所

- ・西山地区の中心地
- ・周辺地区との連携
- ・西山地区の教育の中心地

暮らし

- ・子育てがしやすい、子供が外で遊びやすい町
- ・老人の街、入所したくなるような魅力的な施設
- ・安心して暮らせる、住みやすい町
- ・住民の要望等を聞いてくれる街
- ・施設間の連携がうまくいく
- ・高齢者が楽しく暮らせる町
- ・職場が多く働きやすい
- ・道路標識の設置

自然

- ・羊とふれあう
- ・歴史を残していく町
- ・鹿等の牙・角の販売・活用
- ・山の中のアクティビティがする町
- ・森林を活用、産業化したい
- ・自然の中で危険さも体験、学べる

A班「美術館のレンタル」

C班「I ターンの促進」

C,E班「芸術家が集まる町」

▶ 小学校 × アート ▶

アートが町の交流を生むきっかけに

朝一夕方



日中は授業の邪魔となるため、
空き教室は使用しない。



夕方ー早朝



放課後に空き教室をアトリエとして使用。
生徒と一緒にアート製作も行う。



移転後



小学校が移転した場合、全体を使って
アトリエ兼展示会場とする。



使われなくなった教室の壁を用いて、アーティストとの交流から芸術を学ぶことができる。

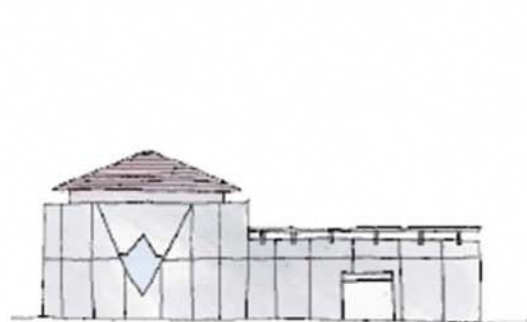
B班 「信州新町を全国にPRしたい」

D班 「教育レベルの高い町」

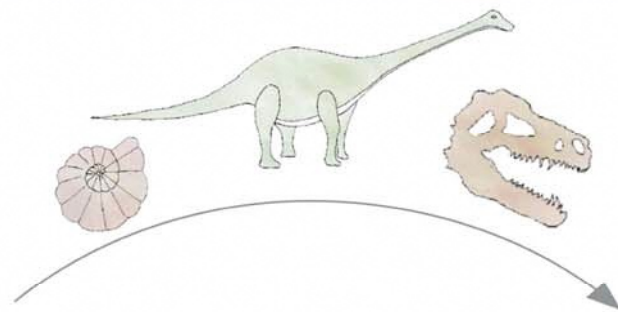
C班 「若い夫婦の定住」

小学校 × 博物館

子供が楽しめる町になる



信州新町化石博物館の化石が…

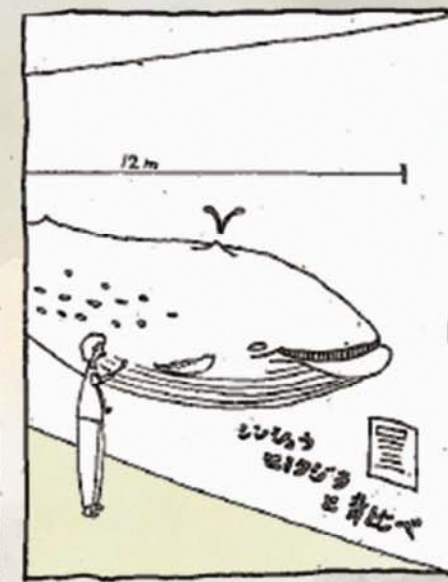


小学校にやってきた！

壁に描かれたシンシュウセミクジラと背比べ



化石のスケッチ大会の開催



恐竜の歩幅を自分で歩いて体験してみる

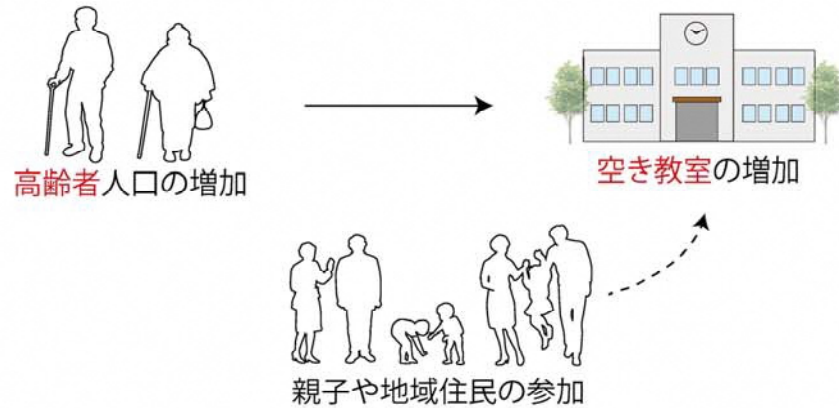
A,E 班「高齢化対策 / 魅力的な施設」

D 班「帰ってきて安心する町」

D,E 班「小・中学校、高齢者の交流」

▶ 小学校 × 高齢者施設 ▶ 多世代の交流が生まれる

多世代の賑わいが見える学校



お昼ご飯は一緒に食堂で



校庭が地域の公園になる



先生はおばあちゃん・おじいちゃん

